

「宅地造成等工事規制区域」「特定盛土等規制区域」ともに下図の

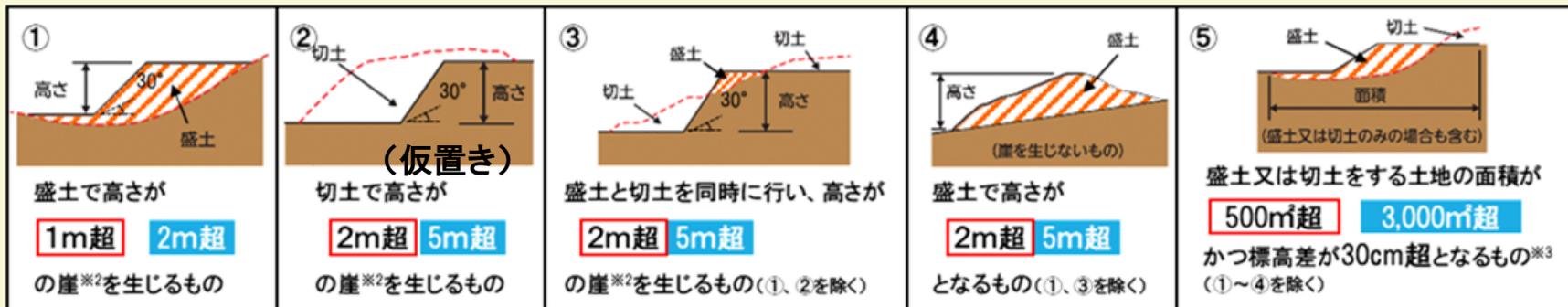
**黒文字** の規模を超える行為を行っている場合は、「1 届出書」が必須です。

**白文字** の規模を超える行為を行っている場合は、「1 届出書」に加えて「2 添付図面」「3 申請地及びその周辺の写真」の添付が必要です。

許可対象

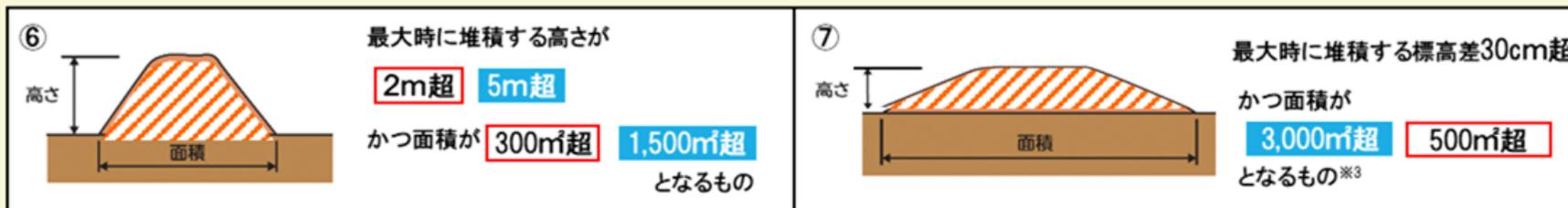
**黒文字** 宅地造成等工事規制区域 **白文字** 特定盛土等規制区域 (黒文字から白文字の間は届出)

■土地の形質の変更(盛土・切土)



※2)「崖」とは、地表面が水平面に対し30度を超える角度をなす土地で、硬岩盤(風化の著しいものを除く)以外のものをいいます。

■一時的な土石の堆積



※3 図⑤、⑦の面積には、標高差30cm以下の盛土・切土又は土石の堆積を行う面積は含みません。

# 21日以内の届出書の作成例について

## □届出書

「○」：必須 「△」：**白文字** 特定盛土等規制区域の許可対象となる規模を超える場合に添付

番号	書類の名称	内容等	添付の有無	該当ページ
1	届出書	・届出者、工事の概要等を記載	○	盛土・切土 : 3ページ 一時的な土石の堆積 : 4ページ
2	添付図面	下記参照	△	盛土・切土 : 5ページ 一時的な土石の堆積 : 6ページ
3	申請地及びその周辺の写真	・対象箇所やその周辺、申請箇所の境界が分かる写真等	△	共通 : 7ページ

※代理申請の場合は、「委任状」（参考様式：事務申請等マニュアルP144）を追加で添付してください。

## □添付図面

番号	図面の名称	明示すべき主な事項	参考縮尺	該当ページ
1	位置図	・方位、道路及び目標となる地物	1/10,000以上	盛土・切土 : 5ページ 一時的な土石の堆積 : 6ページ
2	地形図	・方位及び土地の境界線（赤枠で囲むこと）	1/2,500以上	
3	土地の平面図	[土地の形質変更] ・方位及び土地の境界線並びに、盛土又は切土をする土地の部分 ・崖、擁壁、崖面崩壊防止施設、排水施設及び地滑り抑止ぐい又はグラウンドアンカーその他の土留の位置（該当あれば） [土石の堆積] ・方位及び土地の境界線 ・勾配が10分の1を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置を講ずる位置及び当該措置の内容（該当あれば） ・空地の位置、柵その他これに類するものを設置する位置、雨水その他の地表水を有効に排除する措置を講ずる位置及び当該措置の内容（該当あれば） ・堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置を講ずる位置及び当該措置の内容（該当あれば）	1/2,500以上	

※「明示すべき主な事項」を満たしていれば、既存の資料や1つの図面にまとめていただいても問題ありません。

# 21日以内の届出書の作成例について（届出書：盛土・切土）

様式第十五  
宅地造成又は特定盛土等に関する工事の届出書

令和7年4月21日

岐阜県知事 殿

工事主 住所 高山市上岡本町7丁目468  
氏名 飛驒 清見

宅地造成及び特定盛土等規制法 第21条第1項 第40条第1項 の規定により、下記の工事について届け出ます。

記

1	工事施行者住所氏名	株式会社△△ 代表取締役 岐阜 太郎	
2	工事を行っている土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	〒509-2501 岐阜県下呂市萩原町山之口○○番地△△、○○番地×× (緯度: 35度 95分 44.2秒、経度: 137度 19分 43.7秒)	
3	工事を行っている土地の面積	4,264.0平方メートル	
4	盛土のタイプ	平地盛土・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">腹付け盛土</span> ・谷埋め盛土	
5	盛土又は切土の高さ	14.6メートル	
6	盛土又は切土をする土地の面積	4264.03平方メートル	
7	盛土又は切土の土量	盛土	31127.2立方メートル
		切土	15.0立方メートル
8	工事着手年月日	平成31年4月16日	
9	工事完了予定年月日	令和7年5月31日	
10	工事の進捗状況	例) 残土処分場 (進捗率: ○○%)	

[注意]

- 1 工事主又は1欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 2 2欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 3 4欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）

申請日を入力してください。  
※4月1日～4月21日までに申請してください。

宅地造成等工事規制区域（桃色）の場合：第21条第1項  
特定盛土等規制区域（緑色）の場合：第40条第1項

工事施行者を記載してください。

- ・工事を行っている所在地及び地番、代表地点の緯度経度を入力してください。
- ・緯度経度の調査方法は、県建築指導課のホームページの「規制区域」の県統合GIS等により確認ください。

「4盛土のタイプ」

- ・盛土等を行う土地に○印を付けてください。
- ①谷埋め盛土：谷や沢を埋立て行う盛土
- ②平地盛土：勾配1/10以下の土地で行う盛土（①を除く）
- ③腹付け盛土：勾配1/10超の土地で行う盛土（①を除く）
- ・現場が切土のみの場合は、○印は不要です。

- ・「3工事を行っている土地の面積」盛土等を行っていない面積を含めた全体の土地の面積を記入。
- ・「6盛土又は切土をする土地の面積」盛土等を行っている箇所の土地の面積を記入。

工事着手年月日は、確認できる古い日時を記載してください。

工事の進捗状況は、盛土等を行っている目的や盛土等の進捗率（○%）等を記載してください。

# 21日以内の届出書の作成例について（届出書：一時的な土石の堆積（仮置き））

様式第十六  
土石の堆積に関する工事の届出書

令和7年4月1日

岐阜県知事 殿

工事主 住所 岐阜市藪田南2-1-1  
氏名 株式会社 ○○  
代表取締役 岐阜 太郎

宅地造成及び特定盛土等規制法 第21条第1項  
第40条第1項の規定により、下記の工事について届け出ます。

記

1	工事施行者住所氏名	株式会社○○ 代表取締役 岐阜 太郎
2	工事を行っている土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	〒501-1314 岐阜県掛妻郡掛妻川町谷汲名礼○○番地△△、○○番地□□ (緯度：35度52分68.4秒、経度：136度60分70.3秒)
3	工事を行っている土地の面積	2,878.06 平方メートル
4	土石の堆積の最大堆積高さ	10.0 メートル
5	土石の堆積を行う土地の面積	2,878.06 平方メートル
6	土石の堆積の最大堆積土量	3,390.7 立方メートル
7	工事着手年月日	令和6年10月1日
8	工事完了予定年月日	令和7年10月1日
9	工事の進捗状況	例) ○○工事に発生した土石の堆積を行っている。

[注意]

- 1 工事主又は1欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 2 2欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。

申請日を入力してください。  
※4月1日～4月21日までに申請してください。

宅地造成等工事規制区域（桃色）の場合：第21条第1項  
特定盛土等規制区域（緑色）の場合：第40条第1項

工事施行者を記載してください。

工事着手年月日は、確認できる古い日時を記載してください。

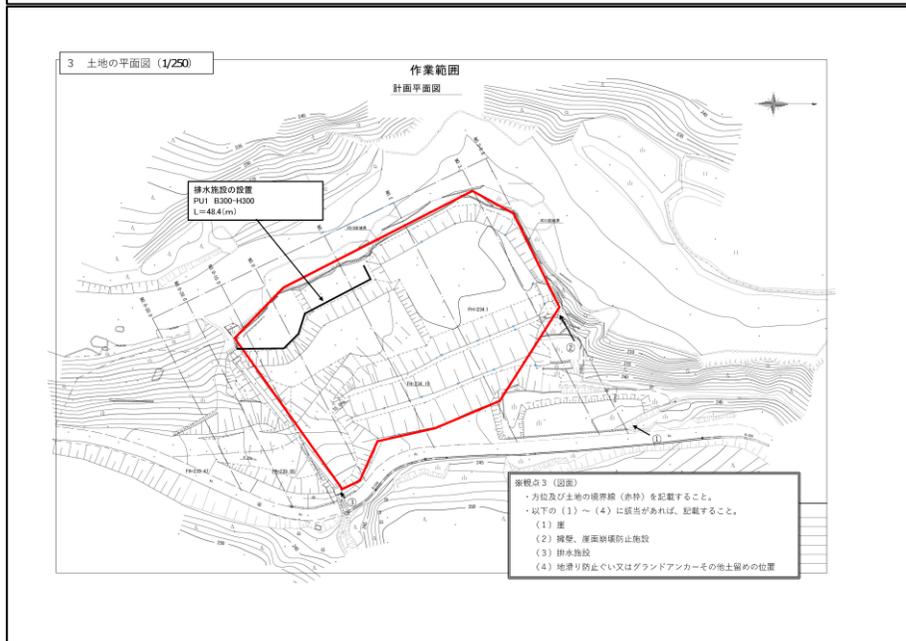
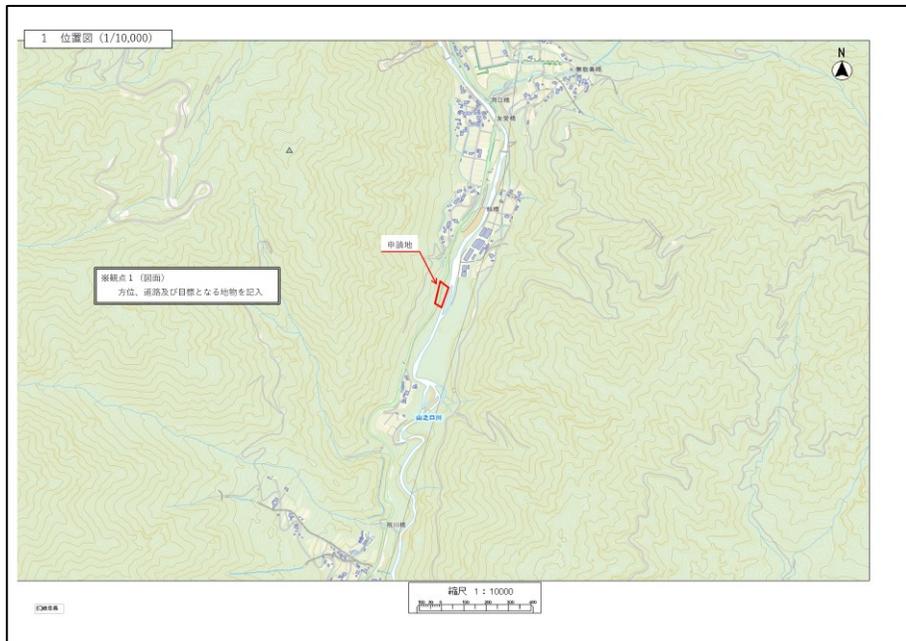
- ・工事を行っている所在地及び地番、代表地点の緯度経度を入力してください。
- ・緯度経度の調査方法は、県建築指導課のホームページの「規制区域」の県統合GIS等により確認ください。

- ・「3工事を行っている土地の面積」盛土等を行っていない面積を含めた全体の土地の面積を記入。
- ・「5土石の堆積を行う土地の面積」盛土等を行っている箇所の土地の面積を記入。

工事完了予定年月日は、未定の場合、「未定」と記載してください。

工事の進捗状況は、盛土等や土石の堆積を行っている目的や盛土等の進捗率（○%）等を記載してください。

# 21日以内の届出書の作成例について（図面：盛土・切土）



## 【盛土・切土の場合】

### ①位置図 (1/10,000)

観点1：方位、図面及び目標となる地物を記入

### ②地形図 (1/2,500)

観点2：方位を記載すること。

土地の許可線（赤枠）で囲むこと

### ③土地の平面図 (1/250)

※写真の番号の向きがあれば、記入すること。

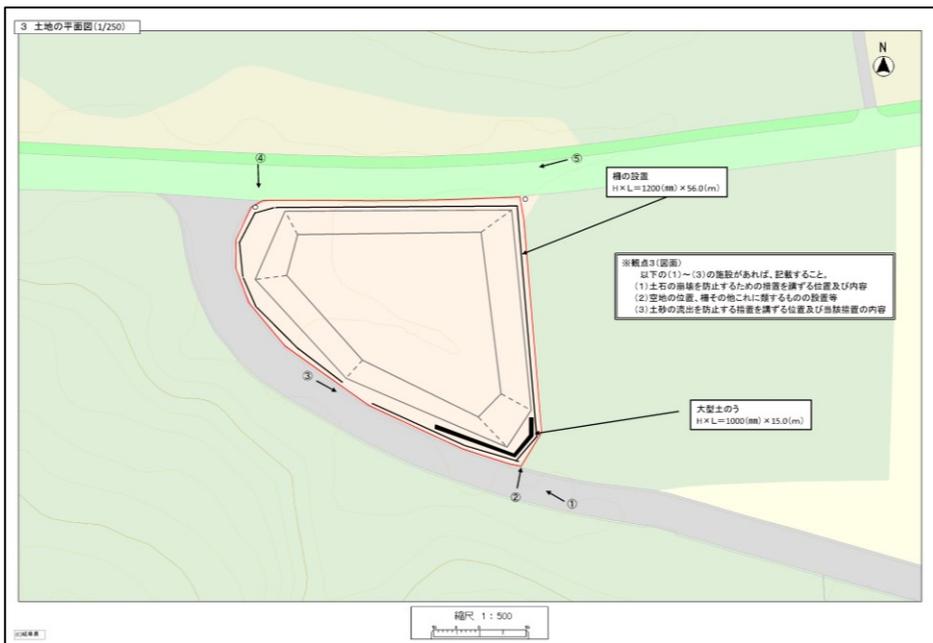
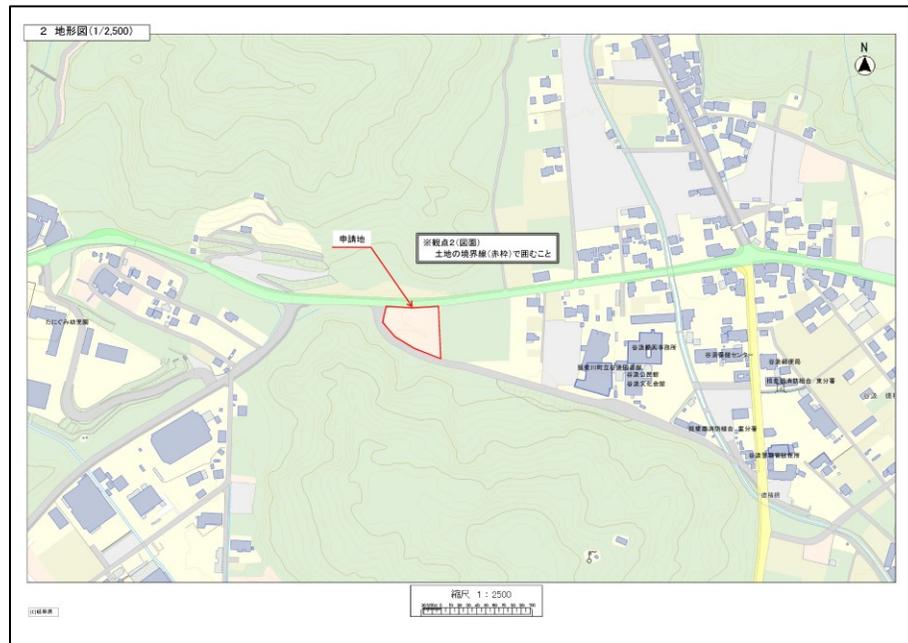
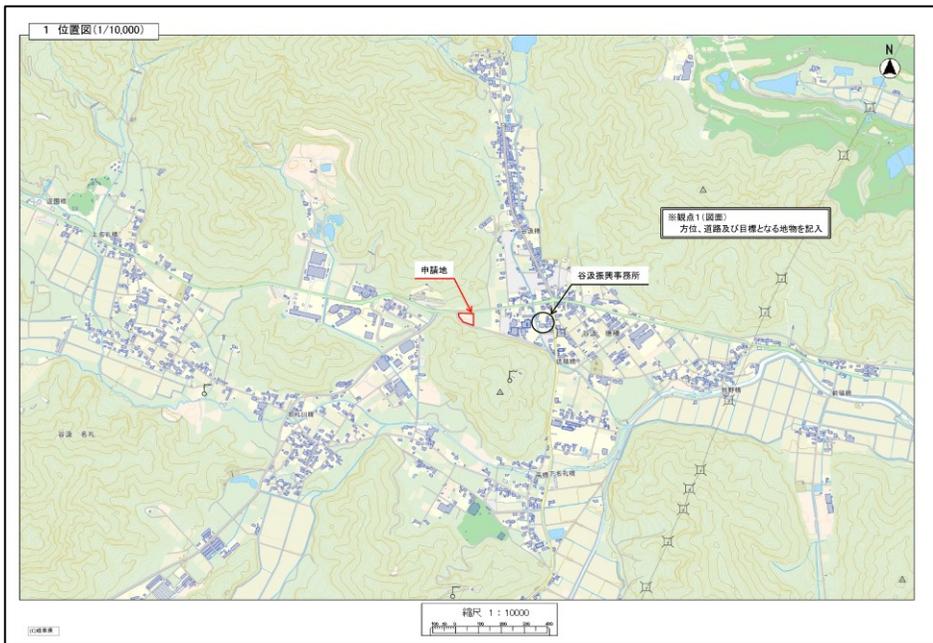
観点3：方位及び土地の境界線（赤枠）を記載すること。

以下の(1)～(4)に該当があれば、記載すること。

(1) 崖 (2) 擁壁、崖面崩壊防止施設 (3) 排水施設

(4) 地滑り防止ぐい又はグラウンドアンカーその他土留めの位置

# 21日以内の届出書の作成例について（図面：一時的な土石の堆積（仮置き））



## 【一時的な土石の堆積（仮置き）の場合】

- ①位置図（1/10,000）  
観点1：方位、図面及び目標となる地物を記入
- ②地形図（1/2,500）  
観点2：方位を記載すること  
土地の許可線（赤枠）で囲むこと
- ③土地の平面図（1/250）  
※写真の番号の向きがあれば、記入すること。  
観点3：以下の（1）～（3）の施設があれば、記載。  
（1）土石の崩壊を防止するための措置（位置・内容）  
（2）空地の位置、柵これにその他類するものの設置等  
（3）土砂の流出を防止する措置（位置・内容）

## 21日以内の届出書の作成例について（現場及びその周辺の写真）

申請者： 株式会社〇〇 岐阜太郎

[①全景]



[②東側]



[③南側]



[④西側]



[⑤北側]



【共通】 ※令和7年3月31日までに現在行われている（工事中）の写真〔撮影時期は定めていません。〕

必須：①全景

※申請地を赤枠で囲む

任意：②～⑤東西南北からの境界等が分かる写真

※周辺の写真があると望ましいです。